

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アジュール若草		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 8日		～ 2026年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○従業者評価実施期間	2025年 3月 8日		～ 2026年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所の生活空間は清潔で心地よく過ごせる環境になっていると評価をいただいた。	限りあるスペースの中で、安全に快適に過ごせるようにしています。	施設面では、県道に面しており車両が混雑している。駐車時に安全制を確保するためゲートにLEDライトや投光器などを設置した。さらに費用を踏まえ快適な環境に改善していきたい。
2	子どものことを十分理解し、支援計画が作成され共感的に支援されていると評価をいただきました。	基本ですが保護者様また相談支援員との連携でアセスメントを実施し、支援計画を作成・実施しています。	偏らないバランスのとれた5領域の支援を目標として、児童各自の長所を伸ばしながら、規則正しい生活習慣、学校や家族との協調性、児童の自立性を育む療育を取り組みます。
3	満足度では安心感をもって通所している、通所を楽しみにしている、また事業所の支援に満足していますとの評価を多くいただきました。	入所してまず初めに事業所に慣れること、通所が楽しいこと、お友達がいること、継続して通所できることなどが満たされていないと、療育はできない、成果が出ないと考えています。そう考え十分事業所に慣れていただくことを重点要素としています。	その児童の特徴・特性を速く見極めるために、試行錯誤を重ねながら、PDCAで個々にあった的確な療育に取り組みます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。**が来ていないとの回答をいただきました。	入所での個人情報の宣約書作成時、個人情報の観点から家族状況などオープンにしない保護者もおられるため、このため保護者会は実施しておりませんでした。	プライバシーなどのデリケートな面もあるため参加していた利用者様から、慎重に進めていきたいと考えます。
2	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。**での回答の評価が少なかった。	見学等は適時実施しているが、ヒヤリングでは希望者が少ないこともあり、実施していません。しかし療育を連携していくためにも家族の参加が必要と感じている。	個別に家族での支援プログラムなどを企画実施できるように取組み改善します。また前年に比較し専門的支援を実施しており、保護者さまにもぜひ見学や参加につなげたい。
3	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。**での回答の評価が少なかった。	どうしても普段の日は地域活動も少なく、また事業所が営業している土曜日。祝祭日は利用者が少ない。このため実際参加出来る条件にはなりにくいこと。	出来るだけ町内会や学校、社協のこどもイベントには参加・交流しましたが、今後も機会があれば積極的に参加したい。